

〈様式第2号〉

申出書

私、_____は、令和元年台風第19号に伴う災害のため住家が半壊・一部損壊（準半壊）しております。

住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施いただきますようお願いいたします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

例1：年金収入のみで余裕がないため、応急修理を実施できる資力がありません。

例2：日常生活費やローン支払いなどで余裕がなく、応急修理を実施できる資力がありません。

例3：勤務していた会社が被害を受け収入がなくなったため、応急修理を実施できる資力がありません。

例4：介護が必要な母（父）がおり、介護費用などの出費で余裕がなく、応急修理を実施できる資力がありません。

令和 年 月 日

申出者

現住所

被害を受けた住宅の所在地

氏名

印

【貸家の場合】

上記住家について、修繕することを承諾するとともに、賃貸人みずから修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理できません。

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

例1：年金収入のみで余裕がないため、応急修理を実施できる資力がありません。

賃貸人

住所

氏名

印